



Vol.231

平成30年5月15日発行

土浦市議会だより

T S U C H I U R A C I T Y C O U N C I L



つくば霞ヶ浦りんりんロード(写真:下坂田付近)



全国初の駅直結サイクリング拠点施設「りんりんスクエア土浦」が、3月29日にJR土浦駅ビル1階、地下1階にオープンしました。今後、県内外から大勢のサイクリストの来訪が期待されます。



明政会 柳澤 明



創政会 篠塚昌毅



新風会 柴原伊一郎



日本共産党 井上圭一



公明党 平石勝司

土浦市議会では、3月定例会(第1回)と市長が当選した直近の定例会で「会派代表質問」を採用しています。
会派代表質問は、市長の市政方針や予算編成方針等に対し、会派を代表した議員が質問を行うもので、質問ができる会派は所属議員が2人以上の会派(本市議会は5会派)で、質問者は各会派1人とし、定例会2日目に行われました。
内容については、4頁、5頁をご覧ください。

会派代表質問を行いました

目次

- 会派代表質問について 1
- 平成30年第1回定例会の結果 2~3
- 会派代表質問(5名) 4~5
- 一般質問
 - 久松 猛・今野貴子 5
 - 竹内 裕・吉田千鶴子・島岡宏明・福田一夫 6
 - 鈴木一彦・勝田達也・塚原圭二 7
- 常任委員会の審査報告 8
- 議会内人事 8
- 第2回(6月)定例会日程 8
- 編集後記 8

<インターネットで市議会の模様が見られます>

土浦市のホームページから「土浦市議会」→「本会議録画配信」を選択してください。

<議会の会議録は次の施設で閲覧できます>

○土浦市立図書館 ○各中学校区の地区公民館
○支所・出張所(南・上大津・都和・神立・新治)
※最新となる会議録(H30第1回)は、5月下旬に閲覧可能となります。



<第1回> 定例会で 決まったこと

一般会計予算など 全47議案を原案可決

平成30年第1回定例会は、3月6日(火)から20日(火)までの15日間の会期で開かれました。

土浦市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正をはじめ、条例の制定や一部改正に関する議案が22件、平成30年度土浦市一般会計予算などの予算に関する議案が19件、土浦市教育委員会委員の任命など人事に関する議案が2件、その他、市道の路線の認定についてなど5件(うち、訴えの提起について1件を撤回)の議案が市長から提出されました。

市議会では慎重に審議した結果、全議案が原案どおり可決となりました。また、継続審査となっていた陳情の採否についても議決しました。

教育委員会委員の任命・公平委員会委員の選任の同意について

最終日の19日に、市長から教育委員会の任命の同意、土浦市公平委員会委員の選任の同意について説明があり、同意しました。
○土浦市教育委員会委員
今野 登喜子 氏

○土浦市公平委員会委員 君山 毅 氏

議案質疑

【久松 猛 議員】
議案第13号 土浦市介護保険条例の一部改正について

討論

【井上 圭一 議員】

議案第3号 土浦市国民健康保険条例の一部改正について(反対)
議案第13号 土浦市介護保険条例の一部改正について(反対)
議案第23号 平成30年度土浦市一般会計予算(反対)
議案第26号 平成30年度土浦市国民健康保険特別会計予算(反対)
議案第28号 平成30年度土浦市介護保険特別会計予算(反対)
議案第32号 平成30年度土浦市水道事業会計予算(反対)

平成30年度 土浦市一般会計・特別会計予算を決定

一般会計	510億8,000万円
特別会計	398億8,000万円
合計	909億6,000万円 (前年比6.2%減)

平成30年度予算は、度と比べ6.2%減で、一般会計特別会計合わせて909億6千万円を計上し、主な事業は下記に示すとおりです。また、市長から示された平成30年度の予算編成に関する基本方針は次のとおりで、これを踏まえ慎重に審査しました。

○予算編成の基本方針

国においては、平成30年度予算編成の基本的な考え方として、歳出全般にわたり、平成25年度予算から平成29年度予算までの安倍内閣の歳出改革の取組を強化するとともに、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化するとしています。

本市においては、これまで最上位計画である第7次土浦市総合計画に基づき、新図書館・美術品展示室整備や市営斎場整備などの合併特例債事業をはじめ、新庁舎整備や川口運動公園野球場整備、新治学園義務教育学校整備など、二連の大規模な基幹事業に集中的に取り組みしてきました。平成30年度予算編成に当たっては、第8次土浦市総合計画の初年度となることから、新計画に引き継いだ事業への確実に対応するとともに、新規事業への取組を推進する予算とする一方で、将来にわたり多額の財源不足が見込まれる厳しい財政状況の中、持続可能な財政運営を確立することを最重要課題として位置づけ、経常経費の徹底した見直しと削減に取り組み、将来を見据えた予算を編成しました。

平成30年度予算の主な事業

費目	事業名	予算額(千円)	目的
総務費	ふるさと土浦応援寄付事業	180,472	「ふるさと土浦応援寄付」をいただいた方への返礼品を拡充し、寄付金額を増やすとともに、地元の特産品等をPRする。
	地域公民館整備事業	41,660	町内会(自治会)住民の地域活動や交流の拠点となる地域コミュニティ施設の新築等に要する経費の補助を行い、地域住民の連帯感及びコミュニティ意識の高揚を図る。
	まちづくりの各種計画や振興、財産を管理するための費用	37,560	防犯対策事業
	36,197	神立駅西口自転車駐輪場整備事業	神立駅西口土地区画整理事業に伴い、神立駅西口自転車駐輪場の建て替えをする。
	2,744	空家等対策推進事業	適切な管理が行われないまま放置されている空家等が増加し、建物倒壊のおそれや安全性の低下、公衆衛生の悪化など生活環境に深刻な悪影響を及ぼしているものがあるため、総合的な空家等対策を推進し、市民の安全で安心な生活を確保し、良好な生活環境の保全とまちづくり活動の促進を図る。
民生費	高齢者や障がい者、児童などに充実した生活を送ってもらうための費用	3,455	自殺対策基本法に基づき、市町村に自殺対策計画が義務付けられたことから、地域の実情に応じた自殺対策計画を策定し、「誰もが自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指す。
	2,180	子ども・子育て支援事業計画策定事業	本市の子ども・子育て支援に関する基本的な方向性や事業の概要を明らかにし、子どもや子育て支援対策の総合かつ計画的な推進を図る。
	1,484	結婚支援事業/結婚新生活支援事業	出会いの場が少なく結婚の希望がかなえられない独身者に対して、異性と出会うきっかけを提供するなど、結婚希望の実現を支援するとともに、新婚世帯を対象に、新生活のスタートに係る費用を助成し、弱者の結婚に伴う経済的負担の軽減を図る。
	26,949	公立保育所民間活力導入事業	公立保育所民間活力導入実施計画に基づき、公立保育所へ民間活力を導入し、子育て支援の一層の充実を図る。
	56,700	民間保育所等運営費補助事業	保育を支える保育士等の確保が困難な状況に鑑み、保育士が働きやすい環境の整備を支援することで、質の高い安定的な保育の提供と待機児童の解消を図る。
衛生費	病気の予防、ゴミ処理やリサイクル、環境の保全・保護するための費用	2,881	(仮称)第3次健康つちうら21計画策定事業
	1,035	がん検診受診率向上事業	平成32年度から36年度の5年間を計画期間とする「(仮称)第3次健康つちうら21」を策定し、計画に定める施策を推進することで、市民の健康増進を目指す。
	3,436	新生児聴覚検査費助成事業	がん検診の不定期受診者が、健診の重要性を認識し受診へつながるよう、個別の受診勧奨・再勧奨を行い、がんの早期発見・早期治療を図る。
	2,005,755	ごみ焼却施設整備事業	新生児の聴覚障害の早期発見・早期療育のため、新生児が医療機関で実施する聴覚検査を受けやすくなるよう、検査に係る費用の一部を公費助成する。
	10,100	第17回世界湖沼会議開催事業	清掃センター(ごみ焼却施設)は、経年劣化による機能の低下が見受けられるため、長寿命化計画に基づき、循環型社会形成推進交付金を活用して、基幹設備改良工事を行い、平成48年度までの施設延命化を図る。世界湖沼会議の開催を契機に、住民、農林漁業者、事業者、研究者、行政など湖沼に関わりを持つすべての人々が、情報共有・意見交換を行い、それぞれの役割分担のもと、連携がより一層強化され、湖沼問題解決の新たな進展につながることを目指す。
農林水産業費	農業、林業、水産業、畜産業などの振興のための費用	13,000	土浦ブランドアッププロジェクト推進事業
	50,000	一般地帯土地改良事業	農林畜水産物の資源を活用した都市と農村の交流と加工品の開発を進め、地域の農林水産業を活性化することで、交流人口が増えるなど、地域経済の好循環を図る。
	16,000	花火大会プロモーション事業	農用地区域の農道及び水路の環境整備により、機械化農業に貢献し、排水路としての機能を回復すると同時に、用水源としても活用することにより営農効率を高め、農業経営の安定を図る。
商工費	商工業や観光振興のための費用	4,543	土浦市観光基本計画推進事業
	73,000	第86回土浦全国花火競技大会開催事業	土浦全国花火競技大会をまちづくりに活かすため、花火を活かした観光プロモーション事業計画を策定し、土浦の花火のファンづくりとブランド化を図る。
	222,302	橋梁耐震対策事業/橋梁長寿命化修繕事業	新たな観光基本計画を策定し、第1次観光基本計画に位置づけられた事業の進捗状況の確認や効果の検証を行い、本市が持つ自然や歴史といった豊かな観光資源を生かした活力と賑わいのあるまちづくりを推進する。
土木費	道路や公園、下水道・橋梁等の整備を行うための費用	344,654	橋梁の耐震性の向上及び長寿命化を図り、災害時における緊急輸送路等を確保するとともに、安全な道路交通を推進する。
	978,629	神立駅西口地区土地区画整理事業	川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、遊歩道の整備を行い、快適な歩行空間の確保と潤いのある都市空間の形成を図る。
	273,026	常名虫掛線街路事業	神立駅周辺地区において、土地区画整理事業等により、西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し、質の高い市街地の形成を推進する。
	361,756	荒川沖木田余線(1期)整備事業	市道I級4号線(旧国道125号線)と県道小野土浦線とを結び内環状線として整備を進める。
	40,517	常備消防車両更新事業	都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間(1期: L=1,300m)を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図る。
教育費	学校教育や生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツ振興のための費用	5,712	「小中一貫教育」推進事業
	71,897	市民会館耐震化及び大規模改造事業	永年の使用により性能が劣化している消防車両を更新整備し、消防力の基幹である消防車両の活動能力を維持する。
	8,922	重要資料公開推進事業	小学校と中学校を貫く学びの連続性の中で、学校が主体性を持って創意工夫に努め、心豊かに個性を發揮できるたくましい子どもの育成を図る。
	81,700	茨城国体準備事業	老朽化が著しく、耐震補強も必要と診断されていることから、施設の耐震化を図るとともに、大規模改造を行い、施設を安心・安全に利用できるよう整備する。
	132,315	学校給食センター再整備事業	特別展やテーマ展などの展示を通して、本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を広く公開・発信し、国宝や重要文化財など貴重な資料を身近に感じる機会を作ること、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、地域の文化向上を図る。

議案等議決結果

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
	会期の件	30. 3. 6	30. 3. 6	原案可決
議案第 1 号	土浦市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第 2 号	土浦市職員の給与に関する条例等の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第 3 号	土浦市国民健康保険税条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第 4 号	土浦市手数料条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第 5 号	土浦市基金設置条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第 6 号	土浦市印鑑条例の一部を改正する条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第 7 号	土浦市廃棄物の処理及び再利用に関する条例等の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第 8 号	土浦市災害見舞金等支給条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第 9 号	土浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第10号	土浦市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第11号	土浦市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第12号	土浦市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第13号	土浦市介護保険条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第14号	土浦市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第15号	土浦市国民健康保険条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第16号	土浦市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第 10 条第 1 項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第17号	土浦市地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第18号	土浦市都市公園条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第19号	土浦市生涯学習館条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第20号	土浦市放課後児童クラブ条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第21号	土浦市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第22号	土浦市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第23号	平成 30 年度土浦市一般会計予算	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第24号	平成 30 年度土浦市公共用地先行取得事業特別会計予算	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第25号	平成 30 年度土浦市駐車場事業特別会計予算	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第26号	平成 30 年度土浦市国民健康保険特別会計予算	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決

議案番号等	件名	上程年月日	議決年月日	結果
議案第27号	平成 30 年度土浦市後期高齢者医療特別会計予算	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第28号	平成 30 年度土浦市介護保険特別会計予算	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第29号	平成 30 年度土浦市下水道事業特別会計予算	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第30号	平成 30 年度土浦市農業集落排水事業特別会計予算	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第31号	平成 30 年度土浦市土浦駅前北地区市街地再開発事業特別会計予算	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第32号	平成 30 年度土浦市水道事業会計予算	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第33号	市道の路線の認定について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第34号	市道の路線の変更について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第35号	市道の路線の廃止について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第36号	訴えの提起について	30. 3. 6	30. 3. 20	原案可決
議案第37号	訴えの提起について	30. 3. 6	30. 3. 14	撤回
報告第 1 号	専決処分の報告について (常磐線土浦・神立間 65 K 978 M 付近横断水路新設工事の施工協定の一部を変更する協定の締結について)	30. 3. 6	30. 3. 6	報告
報告第 2 号	専決処分の報告について (和解について)	30. 3. 6	30. 3. 6	報告
報告第 3 号	専決処分の報告について (和解について)	30. 3. 6	30. 3. 6	報告
報告第 4 号	専決処分の報告について (和解について)	30. 3. 6	30. 3. 6	報告
議案第38号	平成 29 年度土浦市一般会計補正予算 (第 6 回)	30. 3. 14	30. 3. 20	原案可決
議案第39号	平成 29 年度土浦市公共用地先行取得事業特別会計補正予算 (第 1 回)	30. 3. 14	30. 3. 20	原案可決
議案第40号	平成 29 年度土浦市駐車場事業特別会計補正予算 (第 2 回)	30. 3. 14	30. 3. 20	原案可決
議案第41号	平成 29 年度土浦市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	30. 3. 14	30. 3. 20	原案可決
議案第42号	平成 29 年度土浦市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 回)	30. 3. 14	30. 3. 20	原案可決
議案第43号	平成 29 年度土浦市介護保険特別会計補正予算 (第 3 回)	30. 3. 14	30. 3. 20	原案可決
議案第44号	平成 29 年度土浦市下水道事業特別会計補正予算 (第 3 回)	30. 3. 14	30. 3. 20	原案可決
議案第45号	平成 29 年度土浦市土浦駅前北地区市街地再開発事業特別会計補正予算 (第 3 回)	30. 3. 14	30. 3. 20	原案可決
議案第46号	平成 29 年度土浦市水道事業会計補正予算 (第 2 回)	30. 3. 14	30. 3. 20	原案可決
議案第47号	土浦市教育委員会委員の任命の同意について	30. 3. 20	30. 3. 20	原案同意
議案第48号	土浦市公平委員会委員の選任の同意について	30. 3. 20	30. 3. 20	原案同意
	閉会中の事務調査について	30. 3. 20	30. 3. 20	原案可決

※色付き部分は賛否が分かれた案件

各議員の議案に対する賛否の状況

議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	22	23	24	25	26	27	28	賛	反	採決結果	
	平石 勝司	吉田 千鶴子	荒井 武	福田 一夫	井上 圭一	久松 猛	勝田 達也	塚原 圭二	島岡 宏明	今野 貴子	下村 壽郎	鈴木 一彦	小坂 博	篠塚 昌毅	柴原伊一郎	海老原 一郎	柳澤 明	矢口 清	吉田 博史	寺内 充	川原場 明	竹内 裕	内田 卓男	矢口 迪夫	折本 明	沼田 義雄	松本 茂男	賛 成	反 対		
議案第 3 号 土浦市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	22	3	可決
議案第 13 号 土浦市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	22	3	可決
議案第 23 号 平成30年度土浦市一般会計予算	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	2	可決
議案第 26 号 平成30年度土浦市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	22	3	可決
議案第 28 号 平成30年度土浦市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	22	3	可決
議案第 32 号 平成30年度土浦市水道事業会計予算	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	2	可決

賛成…○ 反対…× ※賛否が分かれた案件のみを掲載。 ※議長(海老原一郎)は採決に加わらない。

請願・陳情における意見陳述について

土浦市議会では、請願及び陳情は市民の皆様からの貴重な政策と位置付け、提案者からの意見陳述をいただく機会を積極的に設けています。

請願・陳情についての詳細については、市のホームページまたは、議会事務局までお問い合わせをお願いします。



陳情議決結果

受理番号	件名	上程年月日	議決年月日	結果
受理番号 7	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情書	29. 9. 5	30.3.20	不採択

今定例会では、継続審査となっていた陳情1件について審査を行いました。

不採択 1 件

結果 請願・陳情の

【産業建設委員長報告(抜粋)】
 これまで、森林環境税(仮称)について国や県の動向を見てまいりましたが、「平成30年度税制大綱」に盛り込まれることが閣議決定した森林環境税(仮称)の内容は、茨城県が4年間継続すると決定した森林湖沼環境税の内容と特段の差異が見受けられず、森林環境税(仮称)に関する目的税を有する茨城県内の市においては、意見書提出という願意に対し賛意は見出せないことから、不採択すべきものと決しました。

不採択となった陳情についての委員長報告

受理番号7 「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情書

会派代表質問

創政会 篠塚 昌毅

【質問内容】

- 一 平成30年度市政運営方針のつちうらステツプランプロジェクトについてお伺いします。
- (一) みんなで支えあうつちうらプロジェクトについて
- (二) まちがにぎわうつちうらプロジェクトについて
- (三) 未来へつなぐつちうらプロジェクトについて

【創政会への答弁】

(一) 本格的な高齢化と人口減少の到来により、地域の連帯意識の希薄化が危惧をされている中、活力ある地域活動の促進を図るとともに、全ての人が住みながら地域で生活できるように、市民、団体、各関係機関との協働により、地域で支え合う共生社会の構築を目指してまいります。

(二) 本市では、土浦全国花火競技大会やかすみぐうらマラソン兼国際盲人マラソン、レンコンなどすでに多くの地域資源を有していますが、これにつくば霞ヶ浦りんりんロードや、県内有数の蔵書数を誇る新図書館や市民ギャラリーなどの地域資源が加わるとともに、JR常磐線の東京駅・品川駅乗り入れ本数の拡大など、本市を取り巻く環境に大きな変化がおこっています。このような状況を踏まえつつ、新旧固有の地域資源を磨き上げまして、輝きを放たせ、交流人口や定住人口の増加へとつなげ、まちの賑わいを創出してまいります。

(三) 将来的な人口減少の抑制、長期的な人口構造の若返りを実現するためには、出生率の回復は極めて重要な要素となっておりますが、出生率の回復という課題は一朝一夕で解決できるものはないことから、まずは結婚、妊娠、出産、育児の切れ目のない支援を始め、多様化する子育てニーズに対応できるよう、環境整備の充実を図ります。また、学校教育においても、系統的、継続的な教育により、確かな学力や豊かな心を育むなど、子どもが健やかに成長し、自立、活躍できるまちの実現を目指します。

【その他の質問事項】
二 平成30年度主要施策の次の事業についてお伺いします。
(一) 学校給食センター再整備事業について
① 施設概要並びに運営方法等について
② 食育について
(二) 市民会館耐震化及び大規模改修事業について
① 大ホール、小ホール、会議室等の施設規模について
② バリアフリー化について

公明党 平石 勝司

【質問内容】

- 一 SDGs(持続可能な開発目標)について
- 二 つくば霞ヶ浦りんりんロードサイクリング環境整備について

【公明党への答弁】

一 世界全体の経済、社会及び環境の3つを統合的な問題として捉え、平成27年9月に国連総会の持続可能な開発サミットにおいて、平成42年までに世界で取り組む持続可能な開発目標として、SDGsが採択され、我が国におきましては、「SDGs実施指針」を昨年12月に策定し、誰一人取り残すことのない、持続可能な社会に変革するための取り組みを進めるとしたところであります。

このような中、本市では、これからの10年の市政運営の指針となる第8次土浦市総合計画の策定に取り組み、この度、前期基本計画をあわせた新たな総合計画を策定したところです。人口減少、少子高齢化の進行、また経済のグローバル化への影響など、様々な角度から社会経済情勢の変化を捉え策定したもので、国の「SDGsの実施指針」の内容は十分反映した計画となっており、SDGsの目標達成には貢献していけるものと考えています。

二 つくば霞ヶ浦りんりんロードサイクリング環境整備について、新年度は、周辺自治体の連携をさらに強固なものとするため、知事及び沿線14市町村の首長に加え、民間企業を構成員として、「(仮称)つくば霞ヶ浦りんりんロード活用推進協議会」に提案します。

浦りんりんロード活用推進協議会」の立ち上げに向けて準備を進めているところです。
本市では、自転車と船旅を同時に楽しめるサイクルーズ、サイクルイベント、さらに霞ヶ浦サイクリングツアー、サイクリングマップの作成に取り組み予定です。
また、本市と茨城県及びJR東日本との連携により、サイクリング拠点施設「りんりんスクエア土浦」の整備を進めており、今後もサイクリングホテルやフードマーケットなどが順次オープンし、日本最大級のサイクリング施設となる予定です。
藤沢、虫掛休憩所のキッチンカーの配置については、賑わいづくりにおいて効果的であると考えますので、イベントの開催に併せて検討し、アート作品の展示、休憩所などのネーミングライツについては検討し必要に応じて「(仮称)つくば霞ヶ浦りんりんロード活用推進協議会」に提案します。

【その他の質問事項】

- 三 LINEを活用したいじめ相談について
- 四 不虐待支援への取り組みについて

明政会 柳澤 明

【質問内容】

「日本一住みやすいまち土浦」の実現について
(明政会への答弁)
公共交通空白地域の解消については、まちづくりとの連携を図りながら、各公共交通が相互に補完し合うネットワークを再構築し、持続可能な公共交通網の形成を推進するため、昨年度、土浦市地域公共交通網形成計画を策定しました。本計画では、公共交通不便地域について、地域の需要に応じた公共交通を配置し、公共交通の機能分担を図るため、まちづくりと重要な路線はバス事業者への働きかけにより対応し、居住誘導区域内で人口密度1ヘクタールあたり30人以上の地域はコミュニティ交通の導入を促進することとしており、昨年10月からコミュニティバス導入対象地区の地区長を対象とした説明会を開催しています。今後も見交換を継続してほしいとの要望している地区も複数あることから、引き続きコミュニティ交通の導入に向け、取り組みます。また、居住誘導区域内で人口密度1ヘクタールあたり30人未満及び居住誘導区域以外

は、デマンド型交通の利用を促進することとしており、平成27年度に実施した、土浦市デマンド型交通のあり方調査に基づく改善策の実施について、引き続き土浦地区タクシー協同組合と協議してまいります。
以上のことを踏まえ、今後とも地域の皆様、事業者との協議を重ねながら、土浦市地域公共交通網形成計画を推進することで、持続可能な公共交通網の形成を図り、公共交通不便地域の解消に努めます。

またなか定住促進における空家の利活用については、空家等対策を推進していく上では、単に周辺地域の生活環境に悪影響を与える、管理不全の空家等に対して法に基づく必要な措置を講ずるだけでなく、空家等そのものの発生、または増加を抑制し、もしくは他の用途への転用等による利活用を図ることなども重要となります。中でも資源として有効活用が可能な良好な状態の空家を活用し、定住の受け皿づくりを行うことは、人口減少に対し持続可能なまちづくりを進めるための有効な手段の1つになるものと考えますので、今後は空家等対策計画に基づき、利活用の促進を図っていく取り組みの1つとして、「国の取り組みや市が行うほかの施策と連携した施策」の中で、民間事業者との連携も視野に入れながら、今後様々な角度から検討を行ってまいります。

共産党 井上 圭一

【質問内容】

- 一 実効性のあるコミュニティ交通の運営方針について
- 二 民泊新法の成立を受けた地域の対応について

【共産党への答弁】

一 コミュニティ交通として、またなかの魅力を高めているが、集客を図るといった中心市街地の活性化を最大の目的に、キララちゃんバスがNPO法人まちづくり活性化土浦が事業主体となり、中心市街地とその周辺エリアを結ぶ3路線を設定し、運行をしているところですが、昨年度、まちづくりとの連携を図りながら、各公共交通が相互に補完し合うネットワークを再構築し、持続可能な公共交通網の形成を促進するため、「土浦市地域公共交通網形成計画」を策定しましたので、今後は、地域の需要に応じた公共交通を配置し、まちづくり上、重要な路線については、バス事業者への働きかけにより対応し、また、居住誘導区域内の人口密度により、コミュニティ交通の導入促進やデマンド型交通の利用促進を図りながら、公共交通不便地域の解消に努めます。

二 民泊新法は、民泊サービスに関して公衆衛生の確保や、地域住民等とのトラブル防止に留意した一定のルールを定め、健全な民泊サービスの普及を図りながら、観光客の来訪、滞在促進を目指したもので、平成30年6月15日に施行となることから、先般、制度の実施主体である茨城県の説明会が開催され、制度の概要を始め県の対応、取り組みのスケジュールなどについて説明があったところです。
制度運用に向けた経過と今後のスケジュールですが、国においては、2月下旬に民泊新法関連の専門サイトを開設し、3月1日からは制度の案内、苦情の受け付けなどを行う「民泊コールセンター」が開設されたところですが、また、茨城県は民泊新法に関する専用のホームページを開設しましたほか、2月25日の県広報紙「ひばり」により制度の案内を行い、3月15日から民泊の届け出受け付けを開始することです。
新しい制度に対する不安もありますので、実施主体である県からの情報提供をいただき、関係機関並びに市の関係部署との連携を図りながら、民泊新法の周知をしていきたいと考えています。

市議会のしくみ

市議会は市民参加の開かれたまちづくりのため、市民一人ひとりの声を市政に反映させる役割を担っています。

市議会議員と市長は、4年に一度、市民の皆さまの選挙によって選ばれ、市民の代表として市政の運営を任されています。

市長は選挙公約などで打ち出した政策を進めるため、また住み良いまちづくりを進めるために、予算や条例などの案を作り、市議会議員は市民の皆さまの代表として、その案を慎重に審査し、決定しています。

これは市議会の基本的な権限である議決権であり、予算や条例を決定する権限になることから、市長は議会の議決に従って仕事（市政）を進めていきます。

このようなことから、市議会を「議決機関」、市長を「執行機関」と呼び、互いにけん制し協力し合いながら均衡を保ちつつ、同じ目的である市政の発展のために活動しています。

（質問内容）
ふるさと再生の核となる広場及び駐車場の整備について

（新風会への答弁）

小町の館の駐車場は、普通自動車69台の駐車場を整備していますが、特に天気の良い週末、スポーツ・レクリエーション活動や農作業体験、小町ふれあいまつりなどのイベントには、多くの方々が小町の館を訪れるとともに、周辺には東城寺、清滝寺、日枝神社など多くの観光スポットがあることから、満車の状態が発生することがあります。

バスの駐車状況は、昨年4月から今年2月までの11か月間で、延べ平日が36台、土・日、祝日で13台の駐車実績がありますが、現在のところ、駐車できない状況には至っておりません。

駐車場の整備につきましては、観光客数及び駐車場の利用状況の推移を見極めながら検討していきます。

<議会を傍聴しませんか!!>

市議会本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴の際は、受付（庁舎4階傍聴席入口）で、住所・氏名を記入して入場してください。ぜひご来場ください。



また、小町の館は、小町の里整備基本計画に基づく整備方針として、「小町の里の歴史、文化の伝承や里山の風景、環境の保全、食育、食体験の場を提供するデジタルセンターの役割を担うこと」から、小町の館が有する魅力を活かし、訪れる方がゆつくり、のんびり、そしてありふれた非日常を体験できるような空間づくり」をコンセプトとしています。ふるさと再生の核となる広場については、このコンセプトに基づき、大人から子どもまで、非日常を体験することができ、環境を大切に、貴重な里山の昆虫観察、蜜の観察、バードウォッチング、また、田植えや稲刈りといった農業体験、竹馬づくりや竹とんぼづくりといった手づくりおもちゃでの昔遊び体験などにより、子どもたちが自然に親しむことができる施設として、ますます充実を図ってまいります。

小町の館は、新治地区における観光拠点として、地域の象徴的施設としての役割を担っていく施設です。で、ふるさと再生の核となる施設の在り方に関しては、地元の方々、利用者の皆様、関係者と意見を交換し、検討していきます。

一般質問



久松 猛 <一問一答>

Q 国保事業の運営について
(1) 30年度国保の増税について

A【保健福祉部長】

国保制度改革により、平成30年度から都道府県が市町村とともに、保険者として国保を運営することになり、都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等の国保運営に中心的役割を担います。都道府県は事業運営に必要な費用を確保するため、市町村ごとの国保事業費納付金の額を決定し、これを市町村が都道府県に対して支払い、また、各市町村の保険給付費の支払いに必要な費用は全額都道府県から交付されるという仕組みに変わります。

今回の制度改正により、市町村が都道府県に納める納付金は、国や都道府県からの補助金等の公費や保険料によって賄いますが、このうち保険料については、都道府県から示される各市町村別の標準保険料率を参考にしながら、市町村ごとに税率を検討します。

平成30年度納付金につ



いては、茨城県により、国から示された本係数や平成30年度から拡充された公費を算入されたものとして、市町村ごとの医療水準と所得水準とを考慮して、各市町村への配分額が算定され、その結果が、平成30年1月に示されています。

Q 観光資源の活用について
(1) 点在する観光資源の回遊性の創出について
ラクスマリーナや亀城公園等

A【都市産業部長】

本市は、霞ヶ浦、桜川、筑波山麓、多くの花の名所などの豊かな自然的資源、上高津貝塚や亀城公園、土浦城址を中心とした城下町の街並み、本市の歴史を紹介する博物館などの歴史的な資源、からかさ万灯、観光帆船などの文化的な資源、桜まつりやキララまつり、土浦全国花火競技大会やかすみがうらマラソンなどのイベント、それから、レンコン、醬油、ワカサギなどの特産品など、さまざまな観光資源が存在しており、これらをつなぎ合わせ、回遊性を持たせた観光の振興は大変重要だと考えています。

土浦市観光基本計画において、「自然・歴史・文化・人を生かした観光の振興による活力とにぎわいの推進」を目標とし、目標達成のための観光振興戦略の一つとして、自然資産の魅力化を掲げ、霞ヶ浦の雄大な景観や水辺を気

一般質問とは 市政一般について市長などの執行部の考え、方針を質問することです。議会だよりでは紙面の都合上、質問を一つ取り上げて要旨を掲載しています。今定例会では「一問一答」方式を選択し質問を行った議員が2名、「一括質問・一括答弁」方式を選択した議員が7名でした。



今野 貴子 <一括質問>

軽に楽しめる環境づくりを推進していることとしています。

また、観光振興戦略の一つとして、歴史資産の魅力化も掲げ、亀城公園や旧水戸街道・中城通りの歴史的空間の整備を推進しています。

このような中、首都圏からの玄関口となる土浦駅ビルに、サイクリングリゾート「PLAY atré」が3月29日にオープンすることから、周辺市町村と連携を図り、サイクルーズ事業、サイクルリングバスツアーなど、霞ヶ浦を生かした広域的で回遊性のある取り組みも進めたいと考えています。

本市の持つ自然・歴史・文化・人を生かした観光の振興による活力とにぎわいのある魅力的なまちづくりを推進し、霞ヶ浦や筑波山麓などの自然資源、亀城公園や上高津貝塚などの歴史資源など、本市が持つ点在する観光資源を活用することで、回遊性の創出を図ります。

【その他の質問事項】
○街並みの美観について
(1) 市は街並みの美観についてどのように考えているか、その具体的な取り組みについて
(2) 平成28年第2回定例会で「街並みの美観について」質問をしたが、その後の対応は

○電線地中化を中心とした道路の取り組みについて
(1) 安全や美観の観点から電線地中化はこれから推進されていくべきと考えるが今後の取り組みについて

○電線地中化を中心とした道路の取り組みについて
(1) 安全や美観の観点から電線地中化はこれから推進されていくべきと考えるが今後の取り組みについて



竹内 裕
〈一括質問〉

Q ふるさと納税の現状と効果、総務省の新しい方針への対応

A〔市長公室長〕
ふるさと納税は、平成20年度に制度がスタートし、返礼品の送付、インターネットでの申請の受付、クレジットカードでの納付を可能とするなど、寄付者の利便性向上

に向けた環境整備が進んでおり、さらに、制度改正に伴い、特例控除上限額の拡大、確定申告が不要となるワンストップ特例制度の創設など、制度が拡充され、全国的に広く浸透してきています。

本市においても、制度が創設されました平成20年度から土浦応援寄付事業に取り組み、平成27年9月から本格的に返礼品の送付を開始し、平成28年度では寄付金額3億7千587万円となっております。寄付金の充当先については、寄付者の皆様より第7次総合計画において位置づけられたつちうら戦略プランに沿って使い道

【その他の質問事項】
○継続している(仮称)児童発達支援センターの開設について



を指定しており、事業に活用させていただいております。また、総務省においては、ふるさと納税の更なる活用に向けて、「事業の趣旨や内容・成果のできる限りの明確化」、「ふるさと納税をしていただいた方との継続的なつながり」を視点に、新たな支援策を打ち出したところです。この新たな制度については、地域の活性化及び事業者や企業家の育成確保、定住人口の増加に向けた取組みとして、制度の詳細などの情報収集を行い、調査研究を進めてまいります。

【その他の質問事項】
○教育行政について



吉田 千鶴子
〈一括質問〉

Q 教育行政について(1) 土浦市図書館のおはなし会で「英語の絵本の読み聞かせ等」の実施について

A〔教育長〕
新図書館でのおはなし会については、図書館2階児童コーナー内にある、読み聞かせなどを楽しめる「おはなしのへや」において、市民ボランティア5団体にご協力いただいで開催しています。幼児から小学生までを対象とした「おはなし会」を原則として毎週土

曜日または日曜日に、3歳までの乳幼児とその保護者の方を対象にした「ちいさなおはなし会」を毎週水曜日に、実施しています。

読み聞かせに期待される効果としましては、創造力や集中力が養え、言葉や覚え、本を読む習慣を培うことができます。英語での読み聞かせの場合は、先程の効果に加えて、英語に触れ、英語に慣れることで、英語を聞き取る力が育ち、英語の語彙がふえ、英語の絵本を読む習慣が身につくなどの効果が期待されます。さらに、外国の方には、異なる文化の人々と、幼少時から身近に接する機会を得ることになり、豊かな人間性や創造力を育むとともに、国際性やコミュニケーション能力の向上にも寄与するもの

と考えています。英語の絵本の読み聞かせについて、県内では、北茨城市立図書館が第4土曜日に英語によるおはなし会を、幼児から小学生までを対象として実施しているとのこと、1回あたり平均14人の親子の参加があり、好評を得ているとのことですので、本市としましては今後の参考にしていきたいと考えています。また、本市においては、本年、4月より、市内全ての小学校3・4年生で英語教育がスタートします。図書館における英語による読み聞かせやおはなし会の実施についても、子どもたちが英語に親しむきっかけとして極めて有効な取り組みであると考えており、今後、他の図書館の先進事例を参考にしながら、調査研究を進めます。



福田 一夫
〈一括質問〉

Q 若者の声を市政に反映させるために

A〔市長〕
若者の声を市政に反映させるため、これまで青年、新成人、高校生などを対象にした座談会形式の「市民と市長のまちかどトーク」を開催しております。本年度は医療系専門学校16人の皆さんと対談をいたしました。市内外をはじめ海外の方のご参加もいただき、恵まれた自然や住みやすさなどの良いところ、また、本市の持つ魅力のPR不足や運転マナーの悪

く、県内では常陸大宮市、小美玉市、稲敷市が実施をしています。常陸大宮市では補助要件として、市内で開催される同窓会であること。また、出席者の年齢が25歳から30歳までの方、及び35歳から60歳までの5歳刻みの方であること。そして同窓会の開催時には、出席者に対し市のパンフレット等を配布し、情報の周知を行うことなどの条件があります。この事業は平成28年度から実施され、今後補助の目的に見合う効果があるかどうか、様々な課題が見えてくると思っております。今後、今後も注視していき



市民と市長のまちかどトークの様子

り、交通安全対策の充実などにかかる改善すべき点についてもご意見をいただいたところ、この座談会を通して、若者の土浦に対する素直な意見などを聴くことができ、若者ならではの視点からの斬新なアイデアをいただくとともに、まちづくりに対する熱い想いや土浦市への深い郷土愛を感じたところであり、直接話し合うことにより、お互いの理解を深めることができました。また、その中で次世代に引き継ぐまちづくりの重要さというものも、改めて感じたところであります。これから、このような市民の皆さんからの市政に対するご意見を伺う機会をさらに充実させ、市民の皆さんの行政に参画する意識の醸成を図るとともに、市民一人ひと

く、県内では常陸大宮市、小美玉市、稲敷市が実施をしています。常陸大宮市では補助要件として、市内で開催される同窓会であること。また、出席者の年齢が25歳から30歳までの方、及び35歳から60歳までの5歳刻みの方であること。そして同窓会の開催時には、出席者に対し市のパンフレット等を配布し、情報の周知を行うことなどの条件があります。この事業は平成28年度から実施され、今後補助の目的に見合う効果があるかどうか、様々な課題が見えてくると思っております。今後、今後も注視していき

たいと考えています。本市の同窓会開催支援の取り組みは、市のホームページにおける土浦市同窓会支援サイトを新たに作成し、今年度内に開設する予定です。このサイトは市内の学校の卒業生が、インターネットを通じて同一学校の学年や学級、部活動ごとに登録をすることで、常に情報のやりとりが可能となり、交流を深めることができるもので、同窓会での再会が新たな出会いのきっかけづくりになることや、改めて土浦のよいところを発見してもらい、きっかけになることが期待できると考えており、

【その他の質問事項】
○子どもへの貧困について
(1) 現状について
(2) これまでの対策について
(3) 今後の対応策について

A〔保健福祉部長〕
同窓会開催支援事業について実施している他の自治体の例では、男女の出会いの場の創出や、定住を目的として、市内の小中学校や高等学校の卒業生が、地元で同窓会を開催した場合に助成金を交付しているものが多

く、県内では常陸大宮市、小美玉市、稲敷市が実施をしています。常陸大宮市では補助要件として、市内で開催される同窓会であること。また、出席者の年齢が25歳から30歳までの方、及び35歳から60歳までの5歳刻みの方であること。そして同窓会の開催時には、出席者に対し市のパンフレット等を配布し、情報の周知を行うことなどの条件があります。この事業は平成28年度から実施され、今後補助の目的に見合う効果があるかどうか、様々な課題が見えてくると思っております。今後、今後も注視していき

ひいては土浦市出身の男女の出会いのきっかけを支援するとともに、定住促進につながるものも思っています。少子化の問題については、今後も引き続き結婚、妊娠、出産、育児の切れ目のない支援を始め、保育、教育など様々なニーズに対応できるよう、環境整備を進めるなど、国や県と連携を図りながら取り組みます。

【その他の質問事項】
○子どもへの貧困について
(1) 現状について
(2) これまでの対策について
(3) 今後の対応策について



鈴木 一彦
〈一括質問〉

Q 今後3年間の歳入歳出の見通しについて(広報つちうら2月号を見て)

(1) 財政調整基金がゼロになる可能性はあるのか

(2) 財政調整基金がなくなった場合の財源はどこに求めるのか

(3) 市税収入減が見込まれる中、減少分を抑制しようという政策は考えているのか

A〔市長公室長〕

(1) 長期財政見通しでは、一般財源基金はゼロになる可能性を示したところですが、この長期財政見通しを策定した本旨は、中長期的に一般財源基金の枯渇や累積財源不足など、財政運営の厳しさに対して、手をこまねいて待つのではなく、議員や市民の皆さんとともに共通の認識を持ち、そのような事態を招かないように、今何を行うべきかとの、積極的で適切な対策を講じていくことを、本旨とするものです。

今後も、予算編成及び事業の効率的な執行に努め、年々長期財政見通しの状況を好転させ、財政調整基金等の一般財源基金をゼロとすることのな金(1) 長期財政見通しは、「ない」という状況となり、必然的に限られた市税収入などの歳入に合わせ、歳入歳出の算を緊縮し、歳入歳出の収支を均衡させるより他に方法はないという状況になります。

(2) 予算編成時に一般財源基金もゼロとなった場合、収支不足に対して「もとの財源」は、「ない」状況となり、必然的に限られた市税収入などの歳入に合わせ、歳入歳出の算を緊縮し、歳入歳出の収支を均衡させるより他に方法はないという状況になります。

(3) 持続可能な財政運営にあたっての歳入の確保については、まず、人口維持、産業の育成など税収増加のための施策の推進として、生産年齢人口の定住、増加を図ること。2つ目として、収納率の向上と未収債権の回収促進として、計画的な滞納対策などの徴収率向上や、その他債権についても創意工夫による納付喚起の促進を図ること。3つ目として、売却、貸付、広告掲載など保有資産の有効活用として、未利用資産等を活用した歳入確保のほか、公共施設の改修、更新に合わせたネーミングライツの導入など、新たな歳入の確保を図ること。4つ目として、特別会計を含め、全ての使用料、手数料等について検証、見直しを図ることなどを進めるとともに、人口減少などを見据え、本市の規模にあった公共施設の総量の抑制などに取り組みます。



勝田 達也
〈一問一答〉

Q 土浦市における産業支援について方針、実績、今後の考え方を伺います

A〔都市産業部長〕

本市では、中小企業への支援を目的とした「土浦市中小企業金融制度」により、運転資金・設備資金の融資を各金融機関から受けた場合に係る利子や茨城県信用保証協会に対しての保証料を助成しています。

また、企業誘致を目的とする「企業立地促進奨励金制度」により、市内4つの工業団地やIC周辺等に事務所等を新増設し、市内に住所を有する者を新たに5名以上雇用した場合、奨励金として固定資産税相当額を3年間交付しております。

創業を目指す方々への支援につきましては、平成26年1月に施行された産業競争力強化法に基づき、市商工観光課を創業支援の窓口とし、相談内容にに応じて商工会議所の経営相談員を中心に、課題解決に向けた的確な相談による支援を行うワンストップ相談窓口の設置や創業支援事業補助金、創業セミナーの開催等を盛り込んだ「創業支援事業計画」を策定し、同年10月に国の認定を受けたところです。

本制度は、創業者の経営・財務・人材育成・販路開拓の知識習得を目的として、継続的に行う創業支援の取り組みを特定創業支援事業と位置づけ、この事業に位置づけられたセミナー等を受講した創業者及び創業希望者は、登録免許税の軽減措置や信用保証枠の拡大等の支援が受けられるようになります。

なお、本市では、計画の認定に先立ち、市内で創業にチャレンジされる方に対し、本市のほか、商工会議所や商工会、各金融機関、社会保険労務士会や中小企業家同友会、行政書士会等で組織



塚原 圭二
〈一括質問〉

Q 水郷筑波サイクリング整備事業について

(1) 現状の道路等整備状況について

(2) 今後の観光事業の取組みについて

A〔市長公室長〕

県と本市を含む沿線14市町村では、役割を分担しながら、つくば霞ヶ浦りんりんロードとその周辺地域における日本一のサイクリング環境の構築

を目指すとともに、本市独自の取り組みとして、水郷筑波サイクリング環境整備事業を推進しています。

道路等整備状況については、つくば霞ヶ浦りんりんロードを、初めて利用する人でも、安心して走行できるサイクリング環境を構築するため、つくば霞ヶ浦りんりんロードや、土浦駅からつくば霞ヶ浦りんりんロードにアクセスするための区間に、「矢羽根型路面標示」と「PLAYArié」の施工を進めています。

今後の観光事業については、「プレイアトレ」を活用した、市内をゆくり走り、飲食店や観光施設を自転車でする「散走ツアー」や、飲食代金の割引や景品の贈呈などの、サイクリストを対象としたサービスを行う店舗を取りまとめた「サイクリスト優待店舗マップ」を作成することで、市内を回遊する取り組みを進めるとともに、周辺市町村と連携を図りながら、「サイクルーズ事業」「サイクリングバスツアー」など広域的な取り組みを進めてまいります。

また、土浦港周辺広域交流拠点整備事業により、川口二丁目地内に、サイクリング拠点の整備を進め、市内に点在する観光資源と新たなサイクリング拠点を回遊する仕組みについて、関係団体と連携を取りながら、各種事業を展開してまいります。

さらに、情報発信や誘客、環境整備などを地域一体となって推進する「(仮称)つくば霞ヶ浦りんりんロード活用推進協議会」を設立する予定であり、官民一体となつて、日本一のサイクリング環境の構築を図ってまいります。

〔その他の質問事項〕

○空家対策推進事業について

(1) 空家の現状について

(2) 空家等の利活用について



全国から視察団が来ています！

本市の先進的な事業を調査研究するため、全国各地から市議会議員が行政視察に訪れています。

〈平成29年度に土浦市へ視察に訪れた市議団等〉

視察日	議会名	人数	内容
1 5月16日	鹿児島県南さつま市	6	土浦市まちづくりファンド(ソフト)事業について、防犯カメラについて
2 5月18日	大阪府茨木市	8	医療体制強化事業について
3 5月19日	長野県長野市	11	女性消防団員の活動について
4 5月23日	茨城県かすみがうら市	10	新治学園義務教育学校の整備に係る取り組み状況について
5 7月6日	愛知県稲沢市	6	観光行政の取組みについて
6 7月11日	大阪府岸和田市	5	公共交通事業及びキララバス運行について
7 7月19日	三重県鈴鹿市	9	ごみ減量と資源化について
8 8月2日	愛媛県新居浜市	1	立地適正化計画について
9 10月5日	北海道釧路市	11	立地適正化計画について
10 10月12日	徳島県吉野川市	5	まちなか定住促進事業について
11 10月17日	熊本県宇城市	7	分離型小中一貫教育の取組みについて
12 11月8日	群馬県館林市	5	医療体制強化事業「寄附講座—土浦市地域医療教育講座」の設置について
13 11月15日	長野県南佐久環境衛生組合	19	神立資源リサイクルセンターバイオプラントについて
14 1月15日	兵庫県猪名川町	10	まちなか定住促進事業について、空き家対策等について
15 2月1日	京都府久御山町	10	「のりあいタクシー土浦」会費助成事業について

常任委員会審査報告

議会上に上程された議案は、まず本会議で提案説明がなされ、質疑が行われます。質疑が終了した後、議案は所管に応じて各常任委員会で専門的かつ詳細な審査に付されます。土浦市では3つの常任委員会で専門的な審査を行っています。一部を抜粋して紹介します。

総務市民委員会

議案第23号 平成30年度 土浦市一般会計予算 総務費 防犯灯設置等補助金、防犯灯電気料金補助金について
(問) 市内防犯灯をLED化するに電気料はどのくらい安くなるのか。また、いつまでに市内全域がLED化になるのか。
(答) 蛍光灯からLEDに変えると約4割電気料が安くなります。本年度は3千7百万円の補助金を予算化して、防犯灯を1千7百基設置する予定となっています。各町内からLEDの要望が上がってきていますが、年次計画で交換及び新規設置を行っており、平成32年度に完了する予定です。

議案第23号 平成30年度 土浦市一般会計予算 衛生費 指定ごみ袋製造等委託料について
(問) 指定ごみ袋のデザインとごみ袋の購入の開始時期はいつか。
(答) 指定ごみ袋のデザイン及び色については、モニタリング調査の結果や有料化を実施している先進自治体の例を参考に、レジ袋型で色は従来通り「燃やせるごみの袋」は赤、「燃やせないごみの袋」は青に決まりました。市民の皆様には8月ごろにサンプルを全戸配布する予定です。また、ごみ袋の購入時期は、9月1日から指定販売店で購入することができます。



文教厚生委員会

議案第23号 平成30年度 土浦市一般会計予算 教育費 土浦市民会館耐震補強及び大規模改造工事管理委託料について
(問) スケジュールによると、31年度末まで休館となっているが、成人式や学校の文化祭など、毎年行われている行事はどのようにするのか。
(答) 成人式は、今年については成人式が終わった後に改修に入ることで考えています。改修が始まると休館になってしまふので、代替の場所を探さなければならぬことになるかと思えます。例えば、亀城プラザあるいは駅前町の生涯学習センターのホールを使うなど、工夫をしていかななくてはと考えています。

議案第23号 平成30年度 土浦市一般会計予算 衛生費 新生児聴覚検査費助成金について
(問) 今後の継続など、その先の事も考えているか。また、検査を受けられる市内の医療機関は。
(答) 基本的に今後も継続して実施して行く予定です。現在、出産が出来る病院は、協同病院それから霞ヶ浦医療センター、柴田マタニティクリニックの3病院ございまして、協同病院それから霞ヶ浦医療センターでは受けられる状況です。柴田マタニティクリニックにおいては、今現在は機器が導入されていなくてございまして、4月に入りましたので、早い段階で機器の導入についてお願いを参りたいと考えています。なお、柴田マタニティクリニックで出産された場合でも霞ヶ浦医療センターでは、退院と同時に検査を受けることができます。確認していただきます。

産業建設委員会

議案第23号 平成30年度 土浦市一般会計予算 商工費 土浦キララまつり補助金について
(問) 以前から比べると大分減少しているが、市の考えは。
(答) 去年一昨年から段階的に予算を落としています。その中身について色々なところを見学しており、今まで踊りの方に対して賞金を出してきまして、昨年はその賞金等をやめさせていただくほか、予算削減を図っております。今年度については、土浦市の企業に協賛をいただいで、何かそちらから出せるものはないかどうか、というような形で検討は進めているところです。中身で予算の削減とイベントの内容等を工夫しながら、進めていきたいと考えています。

議案第23号 平成30年度 土浦市一般会計予算 商工費 ジオパーク推進協議会負担金について
(問) 今後どのような取り組みを行うのか。
(答) 29年度は、上高津貝塚等でのイベント、桜川のカヌー体験を実施しています。また、産業祭またはキララまつり等、多くの人が集まる各種イベント等でパンフレットを配るなど、PR活動を行っております。30年度は、ジオパークの関東大会が「筑波山地ジオパーク」で予定されていますので、講座やPR活動を継続していく予定です。

議案第23号 平成30年度 土浦市一般会計予算 観光費 水郷筑波サイクリング環境整備事業や小さな旅事業、JR東日本主体の「駅からハイキング」等の中にジオパークをコースに入れていこうと、県と協議を進めています。

《議会内人事》

総務市民・産業建設委員会が委員長などの変更がございましたので、各常任委員会の委員をお知らせします。
 広報広聴委員会は、常任委員会委員長・副委員長の変更により委員の変更がありました。

◆総務市民委員会

- 委員長 平石 勝司
- 副委員長 島岡 宏明
- 委員 今野 貴子
- 委員 篠塚 昌毅
- 委員 海老原 一郎
- 委員 吉田 博史
- 委員 久松 迪夫
- 委員 矢口 猛
- 委員 沼田 義雄

◆文教厚生委員会(変更なし)

- 委員長 柳澤 圭一
- 副委員長 井上 圭二
- 委員 塚原 圭一
- 委員 下村 壽郎
- 委員 鈴木 一彦
- 委員 荒井 武
- 委員 福田 一夫
- 委員 折本 明
- 委員 松本 茂男

◆産業建設委員会

- 委員長 小坂 博
- 副委員長 勝田 達也
- 委員 柴原 一郎
- 委員 吉田 千鶴子
- 委員 矢口 清
- 委員 寺内 充
- 委員 川原 明朗
- 委員 竹内 卓裕
- 委員 内田 卓男

◆広報広聴委員会

- 委員長 川原 明朗
- 副委員長 平石 勝司
- 委員 勝田 達也
- 委員 井上 圭一
- 委員 島岡 宏明
- 委員 小坂 博
- 委員 柳澤 卓男
- 委員 内田 卓男

平成30年度 会派は次のとおりです。

◎代表者、○経理責任者

市政を考える会

- ◎◎竹内 裕

創政会

- ◎内田 卓男
- ◎松本 茂雄
- ◎沼田 義夫
- ◎矢口 明
- ◎川原 清朗
- ◎矢口 明
- ◎海老原 一郎
- ◎篠塚 昌毅
- ◎小坂 博
- ◎下村 壽郎
- ◎島岡 宏明
- ◎塚原 達也
- ◎勝田 圭二

公明党土浦市議団

- ◎荒井 武
- ◎福田 一夫
- ◎吉田 千鶴子
- ◎平石 勝司

日本共産党土浦市議団

- ◎久松 猛
- ◎井上 圭一

明政会

- ◎寺内 充
- ◎折本 明
- ◎吉田 博史
- ◎柳澤 貴子
- ◎今野 明

新風会

- ◎柴原 一郎
- ◎鈴木 一彦



第2回(6月)定例会日程

日	曜	会議時間	
5/25	金		議会運営委員会・招集告示・議案配付
26	土		
27	日		
28	月		一般質問通告受付開始
29	火		一般質問通告締め切り
30	水		
31	木		
6/1	金		請願・陳情受付締め切り
2	土		
3	日		
4	月		
5	火	午前10時	本会議(招集日)
6	水		
7	木		
8	金		休会
9	土		
10	日		
11	月	午前10時	本会議(一般質問) 議案質疑通告締め切り(午後1時)
12	火	午前10時	本会議(一般質問)
13	水	午前10時	本会議(一般質問・議案質疑)
14	木		
15	金		
16	土		休会(常任委員会)
17	日		討論通告締め切り(委員会終了日の翌日)
18	月		
19	火	午前10時	本会議(最終日)

【市民のみなさまからのご意見募集!】

議会だよりの作成や議会の運営についてなど、ご意見を募集いたします。下記までお寄せください。

例：議会だよりを〇〇〇〇して見やすくしてほしい。
 議会を夜間や休日に開催してはどうか。など

〒300-8686 土浦市大和町9番1号
 土浦市議会事務局 FAX:029-826-3379
 メールの場合は、土浦市議会ホームページの「お問い合わせ」の中の「お問い合わせフォーム」から送信をお願いします。

【編集後記】

土浦市の平成30年度予算がすべて可決し、新年度がスタートしました。組織の定めだが、去る者入る者と、毎年桜咲く四月は、庁内には忙しい中にも新鮮な感じがするのは私だけではないでしょう。

市議会では、議会改革の観点から、予算・決算の審議スタイルについて議論をしております。これは、予算決算委員会を設置しようというもので、これまで常任委員会に分割付託してきた予算案を決算と同じ委員会において審議していくというものです。

来年度は統一選挙となり、新たな議会に期待。
 (委員 内田卓男)

広報広聴委員会

- 委員長 川原 明朗
- 副委員長 平石 勝司
- 委員 勝田 達也
- 委員 井上 圭一
- 委員 島岡 宏明
- 委員 小坂 博
- 委員 柳澤 卓男
- 委員 内田 卓男